

令和元年（2019）12月 入域観光客数概況

75万5,100人
対前年（H30）同月比 +7,600人、+1.0%
～12月の過去最高を更新～

入域状況

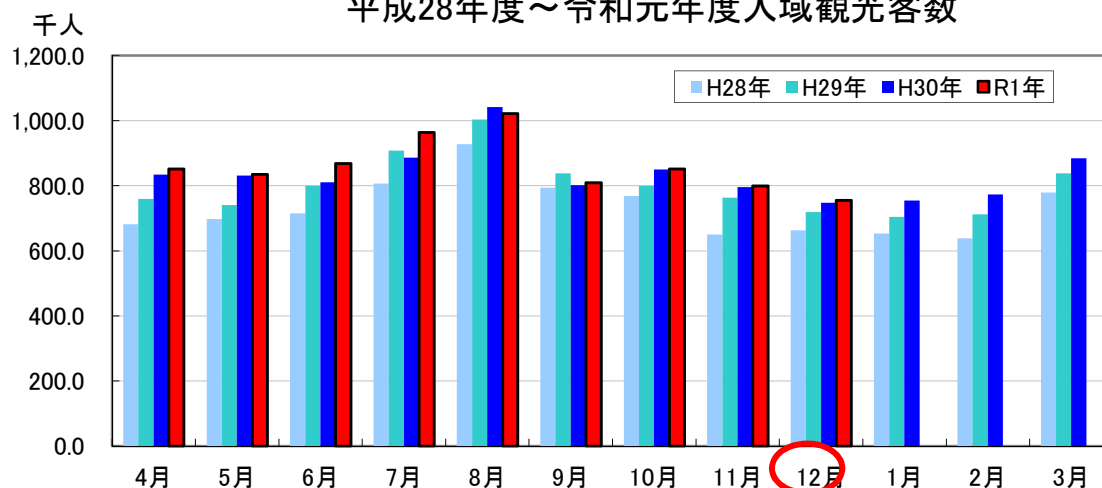
入域観光客数（平成30年度との比較） ※外国客については、乗務員等を**含む**

区分	R1年度	H30年度	増減数	増減率	構成比
国内客	572,700 人	570,300 人	+ 2,400人	+ 0.4%	75.8%
外国客	182,400 人	177,200 人	+ 5,200人	+ 2.9%	24.2%
合計	755,100 人	747,500 人	+ 7,600人	+ 1.0%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成30年度との比較） ※外国客については、乗務員等を**除く**

区分	R1年度	H30年度	増減数	増減率	構成比
国内客	572,700 人	570,300 人	+ 2,400人	+ 0.4%	78.5%
外国客	157,000 人	165,300 人	△ 8,300人	△ 5.0%	21.5%
合計	729,700 人	735,600 人	△ 5,900人	△ 0.8%	100.0%

平成28年度～令和元年度入域観光客数



国内客 入域状況

12月は、年末年始の旅行需要の高まりがあったことや、国内クルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年を上回った。

1月は、引き続き年末年始の旅行需要の高まりが期待されることや、航空会社の提供座席数の増加が予定されていること等から、堅調に推移する見込み。

外国客 入域状況

12月は、韓国市場における訪日旅行自粛の動きや航空路線の減便により空路客は減少したものの、クルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年を上回った。

1月は、引き続き韓国市場における訪日旅行自粛の動きや、航空路線の減便が予定されているものの、クアラルンプール～那覇路線の新規就航や香港市場における航空路線の拡充等から、堅調に推移する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	R1年度	H30年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	277,900 人	281,700 人	△ 3,800人	△ 1.3%	48.5%
関西方面	114,000 人	112,700 人	+ 1,300人	+ 1.2%	19.9%
福岡方面	74,000 人	73,100 人	+ 900人	+ 1.2%	12.9%
名古屋	47,300 人	45,900 人	+ 1,400人	+ 3.1%	8.3%
その他	59,500 人	56,900 人	+ 2,600人	+ 4.6%	10.4%
合計	572,700 人	570,300 人	+ 2,400人	+ 0.4%	100.0%

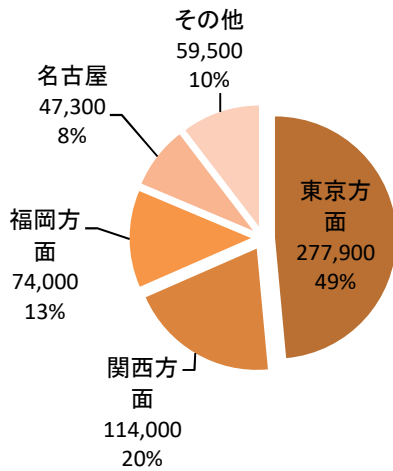
※国内海路客6,700人を含む(鹿児島1,900人、横浜2,800人)

外国客 国籍別入域状況

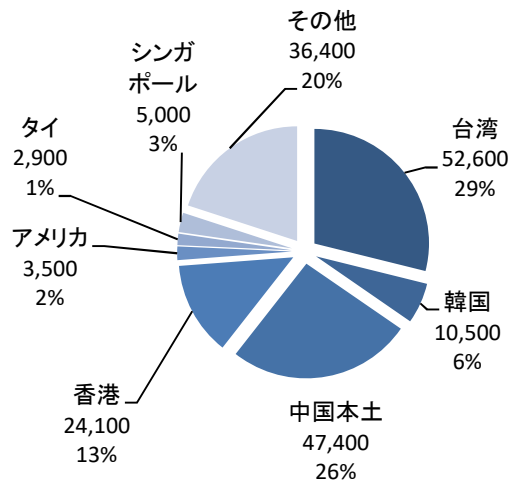
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	R1年度	R1年度	H30年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	52,600 人	52,600 人	48,900 人	+ 3,700人	+7.6%	28.8%
韓国	10,500 人	10,500 人	52,400 人	△ 41,900人	△80.0%	5.8%
中国本土	47,400 人	47,400 人	33,000 人	+ 14,400人	+43.6%	26.0%
香港	24,100 人	24,100 人	15,500 人	+ 8,600人	+55.5%	13.2%
アメリカ	3,500 人	3,500 人	2,400 人	+ 1,100人	+45.8%	1.9%
タイ	2,900 人	2,900 人	2,900 人	± 0人	+0.0%	1.6%
シンガポール	5,000 人	5,000 人	3,800 人	+ 1,200人	+31.6%	2.7%
その他	36,400 人	11,000 人	18,300 人	+ 18,100人	+98.9%	20.0%
合計	182,400 人	157,000 人	177,200 人	+ 5,200人	+2.9%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	41,900 人	41,900 人	△4.1%	39.9%	10,700 人	10,700 人	+105.8%	13.8%
韓国	10,500 人	10,500 人	△80.0%	10.0%	0 人	0 人	—	0.0%
中国本土	14,900 人	14,900 人	△9.7%	14.2%	32,500 人	32,500 人	+97.0%	42.0%
香港	21,300 人	21,300 人	+43.9%	20.3%	2,800 人	2,800 人	+300.0%	3.6%
アメリカ	2,100 人	2,100 人	+10.5%	2.0%	1,400 人	1,400 人	+180.0%	1.8%
タイ	2,800 人	2,800 人	△3.4%	2.7%	100 人	100 人	皆増	0.1%
シンガポール	4,800 人	4,800 人	+26.3%	4.6%	200 人	200 人	皆増	0.3%
その他	6,700 人	6,700 人	+28.8%	6.4%	29,700 人	4,300 人	+126.7%	38.4%
合計	105,000 人	105,000 人	△25.6%	100.0%	77,400 人	52,000 人	+115.0%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

12月は、年末年始の旅行需要の高まりが期待されたものの、昨年より休日が1日少なかったことや、航空会社の提供座席数が減少したこと等から、前年を下回った。

1月は、引き続き年末年始の旅行需要の高まりが期待されることや、離島直行便路線の増便など航空路線の拡充が予定されている等から、堅調に推移する見込み。

大阪

12月は、年末年始の旅行需要の高まりがあったことや、前年同月に比べて航空路線の拡充があったこと等から、前年を上回った。

1月は、引き続き年末年始の旅行需要の高まりが期待されることや、前年同月に比べて航空路線の拡充があること等から、堅調に推移する見込み。

福岡

12月は、年末年始の旅行需要の高まりがあったことや、先行割引航空券やダイナミックパッケージが販売が安定していたこと等から、前年を上回った。

1月は、引き続き年末年始の旅行需要の高まりが期待されることや、大手旅行会社の沖縄旅行キャンペーン強化の取組があること等から、堅調に推移する見込み。

名古屋

12月は、年末年始の旅行需要の高まりがあったことや、航空会社の離島路線の販売が良好だったこと等から前年を上回った。

1月は、引き続き年末年始の旅行需要の高まりが期待されることや、航空会社の離島路線の販売が良好であること等から、堅調に推移する見込み。

台湾

12月は、紅葉・雪見旅行の人気や国内他方面の航空路線の増加により空路客は減少したものの、前年同月よりクルーズ船の寄港回数が増加したこと等から前年を上回った。

1月は、台北－那覇路線のチャーター便の運航が予定されていることや、クルーズ船の寄港回数が増加する予定であること等から、好調に推移する見込み。

韓国

12月は、訪日旅行自粛の動きや航空路線の減便に加え、韓中関係改善による中国への渡航需要の回復やベトナム人気など渡航先の多様化等から、前年を下回った。

1月は、引き続き訪日旅行自粛の動きに加え、航空路線の減便が予定されていること等から、厳しい状況が予想される。

中国本土

12月は、天津－那覇路線の減便等により空路客は減少したものの、前年同月よりクルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年を上回った。

1月は、春節による旅行需要の高まりが期待されることや、前年同月より航空路線の拡充が予定されていること等から、堅調に推移する見込み。

香港

12月は、前年同月より航空路線の拡充あったことや、大型クルーズ船の寄港があったこと等から前年を上回った。

1月は、引き続き前年同月に比べて航空路線の拡充が予定されていることや、香港発のクルーズ船の寄港が増加する予定であること等から、好調に推移する見込み。